

早わかりガイド

—業務課題を解決しながらリーダー育成・組織開発が図れる—

アクションラーニング 活用法

日本アクションラーニング協会(GIALジャパン) 代表 清宮 普美代

■個人と組織に火をともし変革のツール

私がアクションラーニングに出会ったのは2000年、米国の大学院で人材開発学のマスター（修士）コースに在籍していたときである。その最初のセッションの不思議な体験は、今も心に残っている。ただ質問をしていくことで、複雑な問題が紐解かれ、セッションの終わりには行動可能な計画が私たちの前にあった。そして何より、回を追うごとに、参加学生の間信頼関係と親密さが増していく様子が実感できた。個人としてのアクションラーニング体験と同時に、指導教官でもあるマーコード教授の導入プロジェクトに参加していくなかで、単なる個人の成長だけでなく、組織としての行動や文化が変容していくのを見るのは、本当にドラマチックなことであった。アクションラーニングのもたらす成果は大きい。しかし、それは「単なる問題解決手法」とは本質的に異なったものである。その手法の持つ本来的意味を理解し、是非この果実（成果）の真の芳醇さを手にして活用してほしい。

構成

- 1 アクションラーニングとは何か
- 2 アクションラーニングの変遷とマーコードモデル
- 3 時代が求めるアクションラーニング
- 4 アクションラーニングの効果
- 5 アクションラーニングの実際
- 6 アクションラーニングの具体的効用—導入事例の検証
- 7 プログラムの企画と実施
- 8 落とし穴を避ける～まとめ

■清宮普美代（せいみや ふみよ）

東京女子大学文理学部心理学科卒業後、就職情報企業に入社。人事業務の調査・事業企画に携わり、管理職を歴任。15年間の勤務を経て渡米。米国・ワシントンに位置するジョージワシントン大学にて人材開発学修士号取得。同大学院にて、米国アクションラーニング（AL）の権威マイケル J.マーコード教授の指導の下、日本企業へのAL導入について研究を進める。2001年帰国後、外資系金融機関人事責任者、社長室を経て（株）ラーニングデザインセンターを設立、同社代表取締役。NPO法人日本アクションラーニング協会（GIALジャパン）代表。
翻訳：『実践アクションラーニング入門』（ダイヤモンド社2004年）マイケル J.マーコード著

【NPO法人日本アクションラーニング協会】 <http://www.gial-jp.com/>

日本におけるアクションラーニングの理解と組織導入の推進を目的として、アクションラーニングコーチの研究発表、書籍出版、カンファレンス・研究会の開催、ワークショップ運営等を展開中。また、マーコード教授のメソッドを日本において展開している国内唯一の認定ALコーチ養成機関である。これらの活動を通じて、アクションラーニングの運用におけるリソースを提供している。